

平成20年10月21日

各 位

上場会社名 株式会社 マーベラスエンターテイメント
 代表者 代表取締役社長 中山 晴喜
 (コード番号 7844)
 問合せ先責任者 常務取締役 青木 利則
 (TEL 03-5793-9170)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月23日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,500	△500	△530	△525	△6,214.49
今回発表予想(B)	4,340	△340	△320	△250	△2,960.37
増減額(B-A)	△160	160	210	275	――
増減率(%)	△3.6	――	――	――	――
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	5,016	△364	△368	518	6,132.58

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,500	260	200	60	710.23
今回発表予想(B)	12,500	260	230	140	1,660.12
増減額(B-A)	――	――	30	80	――
増減率(%)	――	――	15.0	133.3	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	12,387	352	326	791	9,368.63

修正の理由

当社グループの第2四半期累計期間におきましては、デジタルコンテンツ事業において、販促の強化と最適なタイミングでの商品投下による販売の拡大を図り、国内・海外商品の発売を戦略的に下期に延期したため、売上高は4,340百万円(前回予想4,500百万円)となる見込みであります。

一方で利益に関しましては、音楽映像事業において人気シリーズ「家庭教師ヒットマンREBORN!」を中心にDVDの販売が当初計画を上回り好調に推移したことや、同タイトルの権利収入が増加したこと、舞台公演事業において一部の公演実績を下期より前倒して計上したことなどにより、営業損失△340百万円(前回予想△500百万円)となる見込みであります。また、営業外収入として為替差益や雑収入を計上したことや、特別利益として貸倒引当金戻入益を計上したこと等により、経常損失△320百万円(前回予想△530百万円)、第2四半期累計期間純損失△250百万円(前回予想△525百万円)となる見込みであります。

以上の通り、第2四半期累計期間につきましては当初計画を上回る実績となりましたが、通期の業績予想につきましては、昨今の為替相場における急激な円高基調を踏まえ為替レートの想定をより厳しく見直した結果、売上高12,500百万円、営業利益260百万円、経常利益230百万円(前回予想200百万円)、当期純利益140百万円(前回予想60百万円)となる見込みであります。

尚、下期の想定為替レートにつきましては、1ドル=95円(前回想定95円)、1ポンド=165円(前回想定190円)、1ユーロ=135円(前回想定150円)となっております。

※ 業績の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上